

## 能勢町保育所条例の一部を改正する条例

### 反対討論

今中 喜明

少子化する現在、東・西保育所を一つにすることは反対する余地はないが、もっと将来を見据えた幼稚園・保育所のあり方を議論するべきではないか。平成19年に町長の方針として保育所を一つにすることを表明されたと同時に、認定子ども園といった幼稚園を活用した形での今後の幼保一元化といった議論がなされないまま条例化するのは時機尚早、三月議会まで周知期間をとるべきである。

## 能勢町下水道条例の全部を改正する条例

### 反対討論

今中 喜明

下水道、農業集落排水、浄化槽と各法律があり、管理システムが画一化されている中で事業が進められているのに何故今このときに急遽まとめた条例にしなければならぬのか、三年以内の接続規定があるにもかかわらず、何らそれに対する罰則規定もなければ除外施設に関しても強制力のない内容になっている。現在施行中の天王地区の農集排水事業が遅れていることが明白である現状で急ぐ必要はない。また、農集排水の条例をなくすことは、下水道マスタープランで示した東部地区の整備に影響を与え、今後の整備がなくなったものと理解する。まだまだ生活排水計画の議論を残すべきで、この時期の条例化については反対する。

## 能勢町特定環境保全公共下水道事業の分担金徴収に関する条例の一部を改正する条例

### 反対討論

今中 喜明

平成9年に今回と同じように農業集落排水事業の建設費の一部に充てる分担金条例が制定され、その時の根拠が起債の四分の一、並びに町費の二分の一をもって地元負担とする位置づけであり、杉原地区を整備した時の試算が戸当たり7万5千円、公共下水道が69万4千円となり結論的に、総合的な判断で60万円に決められた経過があるにもかかわらず何故天王地区は70万円なのか、大差はないのではないか。今までの経過を見る限り戸当たり60万円の分担金は踏襲していく

べきだと判断して、今回提案されている70万円は適正な金額でないと判断し反対する。

### 反対討論

谷 義樹

下水道工事の負担金については、地域性や経済情勢等を配慮するということ、算出根拠の式については理解いたします。ただ過去の経緯を見ると、一定の金額に定めることが理想ということで、出てきた金額を適用せず、60万に統一しています。

下水道事業費の一般会計からの繰入れや、債務の償還等にかかる経費は、町全体での負担となり、今後負担金まで増えると、地域的に更に大きな不公平が生じてきます。

負担金については、公共下水道事業第一期計画と可能な限り同額とすると決められた経緯に則り、改めて同一金額で再提案されることを期待し、反対討論とします。

## 平成20年度能勢町一般会計補正予算(第4号)

### 賛成討論

今中 喜明

一般会計補正予算は主に保育所の改築や学校のバリアフリー費が盛り込まれており、次年度に向けての準備予算的なところがあり、事前に執行すべき大事な補正予算と考える。ただ、財源に地域福祉基金の取崩しが含まれ保育所の改築に充当されている形となっている点について、基金の取崩しは慎重にしたい。本来の地域福祉に該当する事業に限られるべきで、今回の財源も繰越金があるからそれを充てるべきであったと考えるが今後は検討されたい。

### 賛成討論

岡本ひとし

今回の補正予算は、平成21年4月より統合される保育所改築費が含まれており、新たな保育事業の効率化を進めていかなければなりません。また、林業会館の土地鑑定料が含まれております。住民へのコミュニティの場として図書館機能を有する施設への第一歩を踏み出すことになり、公民館運営委員会での議論が実現しつつあり、大変嬉しく思うところです。また、新たに先進的な二つの組織が今回耕作推進支援事業を受けられ、今後、能勢町内での農業推進に向けた取り組みのさきがけとなるよう希望しまして賛成の討論とします。